



2025年7月7日

各 位

会社名 **株式会社イオレ**
代表者名 代表取締役社長 瀧野 諭吾
(コード：2334、東証グロース)
問合わせ先 取締役 貞方 渉
(TEL. 03-6773-9067)

(開示事項の経過) 暗号資産金融事業参入の詳細について

7月1日に開示いたしました「(開示事項の経過) 暗号資産金融事業参入に関するお知らせ」について、具体的に参入する事業に関する詳細を決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 事業開始の趣旨

3月26日に開示した「新たな事業の開始に関するお知らせ」及び「第三者割当による新株式及び新株予約権の発行、並びに主要株主の異動に関するお知らせ」に記載の通り、今後の当社の成長を加速すべく協業・提携等の可能性について検討した結果、第三者割当による新株式及び新株予約権の発行による資金調達を行い、AIデータセンター事業への参入及び暗号資産金融事業への参入検討することを決議し、7月1日には暗号資産金融事業への参入を決議致しました。

2. 新たな事業の概要

(1) 新たな事業の背景

当社では、2025年7月1日に「(開示事項の経過)暗号資産金融事業参入に関するお知らせ」にて公表した通り、暗号資産関連事業への参入を決議しております。

現在の日本における暗号資産市場は、技術的優位性やサービス普及よりも投機的側面が強いとの見解が大きいと考えられますが、当社では、暗号資産市場における税制や上場投資信託(ETF)などの各種金融規制を中核とした、行政主導の社会体制の適切な整備が加速している状況から、暗号資産市場は、金融市場として急速に成熟していくと認識しており、この社会的変革を背景に、単純な投機目的に事業開発を行うのではなく、暗号資産金融市場の健全な拡大に必要とされる事業構築を目指してまいります。

当社では、これらの暗号資産金融サービスを展開するに先立ち、まずは基礎事業として、暗号資産トレジャリー及び暗号資産レンディング事業について参入いたします。

(2) 新たな事業の概要

1. 暗号資産トレジャリー

暗号資産金融業を開始するにあたり、基礎となる暗号資産の購入及び保有については、余剰資金を活用し推進いたします。購入する暗号資産はビットコインを想定しておりますが、具体的な購入時期(期間)、購入金額については現在検討中であり、詳細が確定した際には、速やかに適切な方法で開示いたします。保有した暗号資産は、適切に運用することで事業の加速的成長が得られるものと考えております。

また、今後の事業拡大および成長戦略の一環として、資金調達を行う予定であり、手段についても複数の選択肢を検討してまいります。現時点で具体的な実施の決定には至っておりませんが、実施が決定した場合には、速やかに適切な方法で開示を行います。

2. 暗号資産レンディング

4月10日には、金融庁にて公表された「暗号資産に関連する制度のあり方等の検証

(注)」に記載の通り、「規制対象とする必要性については将来的な課題として継続的に注視していくことが考えられる」ものの暗号資産を保有者から一定期間借り受け、利息相当分をお返しする暗号資産レンディングについては、暗号資産交換業者としての登録が必要なく、暗号資産トレジャリー事業とのシナジーも十分であることから参入することといたしました。サービスリリースに向けて、システム開発、暗号資産運用モデルの開発等を進めてまいります。

(注) 金融庁「「暗号資産に関連する制度のあり方等の検証」

https://www.fsa.go.jp/news/r6/sonota/20250410_2/01.pdf

(3) 当該事業を担当する部門

Web3ユニット

(4) 当該事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

3月26日に開示した暗号資産金融事業参入準備費用に記載の通り、暗号資産レンディングに関連し、運用モデルの開発等に向けて、AI 領域で実績のある開発人材の採用費及び人件費として136百万円、システム開発費として50百万円、マーケティング費として10百万円を2027年12月まで継続して充当することを予定しております。

暗号資産トレジャリーについては、具体的な購入時期（期間）、購入金額については現在検討中であります。

3. 日程

(1) 取締役会決議日	2025年7月1日
(2) 事業開始日	2025年7月1日

4. 今後の見通し

長期的に当社の業績向上に資するものと考えております。今期業績に与える影響は現在精査中であり、重要な影響を与えることが判明した場合には、速やかに開示する予定です。

以上